

11000 U.S. PTO
09/963859



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In the application of:

Yutaka HASEGAWA, et al.

Serial No.: Currently unknown

Filing Date: Concurrently herewith

For: METHOD OF VALIDATING ENTRANCE
TO EVENT SITE

Examiner: Currently unknown

Group Art Unit: Currently unknown

TRANSMITTAL OF PRIORITY DOCUMENT

Box Patent Application
Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

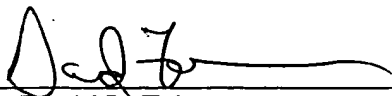
Dear Sir:

Enclosed herewith is a certified copy of Japanese Patent Application No. 2000-299159
filed September 29, 2000, from which priority is claimed under 35 U.S.C. 119 and Rule 55.

Acknowledgement of the priority document is respectfully requested to ensure that the
subject information appears on the printed patent.

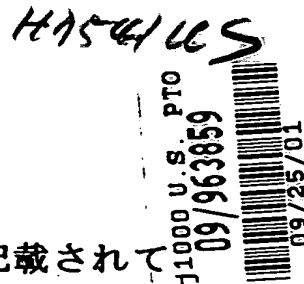
Dated: September 25, 2001

Respectfully submitted,

By: 
David L. Fehrman
Registration No. 28,600

Morrison & Foerster LLP
555 West Fifth Street
Suite 3500
Los Angeles, California 90013-1024
Telephone: (213) 892-5601
Facsimile: (213) 892-5454

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年 9月29日

出願番号

Application Number:

特願2000-299159

出願人

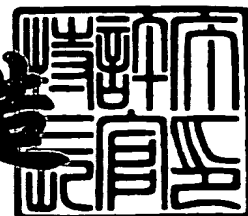
Applicant(s):

ヤマハ株式会社

2001年 5月11日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3038224

【書類名】 特許願

【整理番号】 DY538

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G07C 11/00

【発明者】

 【住所又は居所】 静岡県浜松市中沢町 1 0 番 1 号 ヤマハ株式会社内

 【氏名】 長谷川 豊

【発明者】

 【住所又は居所】 静岡県浜松市中沢町 1 0 番 1 号 ヤマハ株式会社内

 【氏名】 肥塚 真二

【発明者】

 【住所又は居所】 静岡県浜松市中沢町 1 0 番 1 号 ヤマハ株式会社内

 【氏名】 綱島 伸夫

【発明者】

 【住所又は居所】 静岡県浜松市中沢町 1 0 番 1 号 ヤマハ株式会社内

 【氏名】 大倉 正也

【特許出願人】

 【識別番号】 000004075

 【氏名又は名称】 ヤマハ株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100096954

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 矢島 保夫

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 022781

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

【物件名】	要約書	1
【プルーフの要否】	要	

【書類名】 明細書

【発明の名称】 入場許可認証方法およびシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イベント会場への入場許可認証方法であって、

携帯端末からネットワーク経由で認証発券サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行なうステップと、

認証発券サーバにて前記チケットデータの申込みを受付け、その申込みに応じたチケットデータを前記携帯端末に送信するステップと、

前記携帯端末で前記チケットデータを受信し、該チケットデータを前記携帯端末で表示出力または音響出力することにより、物理的なチケットを代替するステップと

を備えたことを特徴とする入場許可認証方法。

【請求項 2】

イベント会場への入場許可認証方法であって、

携帯端末からネットワーク経由で受付サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行なうステップと、

前記受付サーバから前記チケットデータの申込みがあった携帯端末に、アクセス先情報とパスワードを含むメールを送信するステップと、

前記携帯端末で前記メールを受信し、前記アクセス先情報で特定されるアクセス先である発券サーバにアクセスして、前記パスワードを入力するステップと、

前記アクセス先の発券サーバで、前記入力されたパスワードが適正なものであるか否かを確認し、適正なものであったときにはチケットデータを前記携帯端末に送信するステップと、

前記携帯端末で前記チケットデータを受信し、該チケットデータを前記携帯端末で表示出力または音響出力することにより、物理的なチケットを代替するステップと

を備えたことを特徴とする入場許可認証方法。

【請求項 3】

請求項1または2の何れか1つに記載の入場許可認証方法において、

前記チケットデータの前記携帯端末での表示出力は、所定の画像、所定の文字列、若しくはバーコード、またはこれらの組み合わせであることを特徴とする入場許可認証方法。

【請求項4】

請求項3に記載の入場許可認証方法において、

前記チケットデータは、表示される際にその表示態様を決定する情報を含むものであることを特徴とする入場許可認証方法。

【請求項5】

請求項3に記載の入場許可認証方法において、

前記携帯端末での表示出力を読み取り、該読み取りデータにより、前記携帯端末が保持しているチケットデータが適正なものであるか否かを確認するステップを、さらに備えたことを特徴とする入場許可認証方法。

【請求項6】

イベント会場への入場許可認証システムであって、

ネットワークに接続された携帯端末と認証発券サーバとを備えるとともに、

前記携帯端末は、前記ネットワーク経由で前記認証発券サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行なう手段と、前記認証発券サーバから送信されるチケットデータを受信する手段と、受信したチケットデータを表示出力または音響出力する手段とを備え、

前記認証発券サーバは、前記携帯端末からのチケットデータの申込みを受付け、その申込みに応じたチケットデータを前記携帯端末に送信する手段を備えたことを特徴とする入場許可認証システム。

【請求項7】

イベント会場への入場許可認証システムであって、

ネットワークに接続された携帯端末と受付サーバと発券サーバとを備えるとともに、

前記携帯端末は、前記ネットワーク経由で前記受付サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行なう手段と、前記受付サーバから送信されるアクセス先

情報とパスワードを含むメールを受信する手段と、受信したメールに含まれるアクセス先である発券サーバにアクセスし、前記パスワードを送ってチケットデータを要求する手段と、前記発券サーバから送信されるチケットデータを受信する手段と、受信したチケットデータを表示出力または音響出力する手段とを備え、

前記受付サーバは、前記携帯端末からのチケットデータの申込みを受付け、アクセス先情報とパスワードを含むメールを送信する手段を備え、

前記発券サーバは、前記携帯端末からのチケットデータの要求に付随して送られるパスワードが適正なものであるか否かを確認する手段と、適正なものであったときにチケットデータを前記携帯端末に送信する手段とを備えたことを特徴とする入場許可認証システム。

【請求項 8】

請求項 6 または 7 の何れか 1 つに記載の入場許可認証システムにおいて、

前記チケットデータの前記携帯端末での表示出力は、所定の画像、所定の文字列、若しくはバーコード、またはこれらの組み合わせであることを特徴とする入場許可認証システム。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の入場許可認証システムにおいて、

前記チケットデータは、表示される際にその表示態様を決定する情報を含むものであることを特徴とする入場許可認証システム。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の入場許可認証システムにおいて、

前記携帯端末での表示出力を読み取り、該読み取りデータにより、前記携帯端末が保持しているチケットデータが適正なものであるか否かを確認する手段を、さらに備えたことを特徴とする入場許可認証システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、携帯電話などの携帯端末を利用した個人認証方法に関し、特に、コンサートなどのイベント会場への入場許可認証方法およびシステムに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来より、コンサートなどの各種イベントに参加／入場するためには、イベント会場、プレイガイド、またはチケット販売所などで販売／配付されるチケットを直接入手したり、あるいは電話や郵便などを利用して申し込むことによりチケットの販売／配付を受ける方法などがあった。

【0 0 0 3】

一方、物理的なチケット無しで携帯型端末装置を用いて入場のチェックを行なうシステムが特開平 1 1 - 1 8 4 9 3 5 号公報に開示されている。これは、携帯電話から予約会社を介して飛行機の予約を航空会社に申し込み、予約できたときは、登場予約データファイルに予約内容が登録されるとともに、携帯電話に予約内容が送られ保持される。入場チェックの際には、携帯型端末装置から信号を送ると、予約内容を保持したサーバで予約状況をチェックしその携帯型端末装置の利用者の入場を許可する。

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

上述した物理的なチケットをユーザが入手する方法では、入手の手間が煩雑であるという問題があった。またイベントの管理者や主催者側にとってもチケットの印刷や販売／配付のためのコストを考慮しなければならなかった。また、特開平 1 1 - 1 8 4 9 3 5 号に記載の技術では、入場チェックの際に携帯型端末装置とサーバとの間で認証の処理を行なう必要があり、そのための認証プログラムなどを用意しなければならないし、入場チェック時に比較的处理量の多い認証処理を行なわなければならない。

【0 0 0 5】

この発明は、上述の従来技術における問題点に鑑み、ユーザにとっては入手の手間が煩雑な物理的なチケット無しでイベントなどの参加申し込みを行なうことができ、管理者側にとっては手間やコストが軽減される入場許可認証方法およびシステムを提供することを目的とする。また、この発明は、容易に入場チェックを行なうことができる入場許可認証方法およびシステムを提供することを目的と

する。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

この目的を達成するため、請求項 1 に係る発明は、イベント会場への入場許可認証方法であって、携帯端末からネットワーク経由で認証発券サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行なうステップと、認証発券サーバにて前記チケットデータの申込みを受付け、その申込みに応じたチケットデータを前記携帯端末に送信するステップと、前記携帯端末で前記チケットデータを受信し、該チケットデータを前記携帯端末で表示出力または音響出力することにより、物理的なチケットを代替するステップとを備えたことを特徴とする。

【 0 0 0 7 】

請求項 2 に係る発明は、イベント会場への入場許可認証方法であって、携帯端末からネットワーク経由で受付サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行なうステップと、前記受付サーバから前記チケットデータの申込みがあった携帯端末に、アクセス先情報とパスワードを含むメールを送信するステップと、前記携帯端末で前記メールを受信し、前記アクセス先情報で特定されるアクセス先である発券サーバにアクセスして、前記パスワードを入力するステップと、前記アクセス先の発券サーバで、前記入力されたパスワードが適正なものであるか否かを確認し、適正なものであったときにはチケットデータを前記携帯端末に送信するステップと、前記携帯端末で前記チケットデータを受信し、該チケットデータを前記携帯端末で表示出力または音響出力することにより、物理的なチケットを代替するステップとを備えたことを特徴とする。

【 0 0 0 8 】

請求項 3 に係る発明は、請求項 1 または 2 の何れか 1 つに記載の入場許可認証方法において、前記チケットデータの前記携帯端末での表示出力は、所定の画像、所定の文字列、若しくはバーコード、またはこれらの組み合わせであることを特徴とする。

【 0 0 0 9 】

請求項 4 に係る発明は、請求項 3 に記載の入場許可認証方法において、前記チ

ケットデータは、表示される際にその表示態様を決定する情報を含むものであることを特徴とする。

【 0 0 1 0 】

請求項 5 に係る発明は、請求項 3 に記載の入場許可認証方法において、前記携帯端末での表示出力を読み取り、該読み取りデータにより、前記携帯端末が保持しているチケットデータが適正なものであるか否かを確認するステップを、さらに備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

請求項 6 に係る発明は、イベント会場への入場許可認証システムであって、ネットワークに接続された携帯端末と認証発券サーバとを備えるとともに、前記携帯端末は、前記ネットワーク経由で前記認証発券サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行なう手段と、前記認証発券サーバから送信されるチケットデータを受信する手段と、受信したチケットデータを表示出力または音響出力する手段とを備え、前記認証発券サーバは、前記携帯端末からのチケットデータの申込みを受付け、その申込みに応じたチケットデータを前記携帯端末に送信する手段を備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

請求項 7 に係る発明は、イベント会場への入場許可認証システムであって、ネットワークに接続された携帯端末と受付サーバと発券サーバとを備えるとともに、前記携帯端末は、前記ネットワーク経由で前記受付サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行なう手段と、前記受付サーバから送信されるアクセス先情報とパスワードを含むメールを受信する手段と、受信したメールに含まれるアクセス先である発券サーバにアクセスし、前記パスワードを送ってチケットデータを要求する手段と、前記発券サーバから送信されるチケットデータを受信する手段と、受信したチケットデータを表示出力または音響出力する手段とを備え、前記受付サーバは、前記携帯端末からのチケットデータの申込みを受付け、アクセス先情報とパスワードを含むメールを送信する手段を備え、前記発券サーバは、前記携帯端末からのチケットデータの要求に付随して送られるパスワードが適正なものであるか否かを確認する手段と、適正なものであったときにチケットデ

ータを前記携帯端末に送信する手段とを備えたことを特徴とする。

【0013】

請求項8に係る発明は、請求項6または7の何れか1つに記載の入場許可認証システムにおいて、前記チケットデータの前記携帯端末での表示出力は、所定の画像、所定の文字列、若しくはバーコード、またはこれらの組み合わせであることを特徴とする。

【0014】

請求項9に係る発明は、請求項8に記載の入場許可認証システムにおいて、前記チケットデータは、表示される際にその表示態様を決定する情報を含むものであることを特徴とする。

【0015】

請求項10に係る発明は、請求項8に記載の入場許可認証システムにおいて、前記携帯端末での表示出力を読み取り、該読み取りデータにより、前記携帯端末が保持しているチケットデータが適正なものであるか否かを確認する手段を、さらに備えたことを特徴とする。

【0016】

【発明の実施の形態】

以下、図面を用いてこの発明の実施の形態を説明する。

【0017】

図1は、この発明を適用したイベント会場などへの入場許可認証システムの概要を示す。インターネットなどのネットワークインフラ100に、認証発券サーバ101、ユーザ端末102、携帯端末用の中継基地局104、信販カード会社または銀行等システム105、およびイベント会場管理端末106などが接続され、相互に通信可能になっている。認証発券サーバ101は、イベントの管理者や主催者側が用意するサーバであり、登録者データベース(DB)111、WebページHTML文書群112、およびチケットデータ113などを備える。登録者DB111には、あらかじめ本システムを用いてチケットの発券を受けることができるユーザを特定する情報（例えば、ユーザ氏名、電話番号、ID、登録パスワード、メールアドレスなど）が格納されている。登録者DB111の各情

報は、各項目の検索キーなどで検索可能である。さらに、登録者DB111に、銀行口座番号、アクセス頻度、および利用履歴などを記憶してもよい。

【0018】

ユーザは、ユーザ端末102やユーザ携帯端末103を用いてネットワーク100を介して、認証発券サーバ101にアクセスする。ユーザ端末102およびユーザ携帯端末103は、何れもユーザがイベント会場まで持ち運ぶことができる携帯型のものとする。認証発券サーバ101は、それらのユーザからのアクセスに対して、登録者DB111を参照し、該アクセスが登録ユーザからのものであることを確認する。確認が取れたら、所定の表示を行なわせるべく該アクセス元の端末102、103に表示データを返送する。WebページHTML文書群112は、端末102、103からの要求に応じて送信する文書データ群である。これらの文書データをやり取りすることにより、端末102、103から認証発券サーバ101にチケットデータの発行申込みを行ない、認証発券サーバ101から端末102、103にチケットデータ113を発行する。チケットデータ113は、例えば画像を含むHTML文書などであり、これを端末102、103のディスプレイに表示することによりイベント会場に入場できるチケットの役割を果たす。

【0019】

端末102、103は、認証発券サーバ101から返送されてきたチケットデータを所定の態様（基本的には当該データ内に表示態様を決める情報を含んでいるデータであり、例えばHTMLなどのスクリプトによる表示を行なうものなど）で表示し、該表示結果を持って端末の所持者がチケットを所有する者であることを認証する。

【0020】

信販カード会社または銀行等システム105は、有料サービスの場合の課金やチケット代金の決算処理などをオンラインで行なうためのシステムである。イベント会場管理端末106は、ユーザ携帯端末107とイベントの現場でやり取りをして認証を行なう場合に設けるものである。イベント会場管理端末106と認証発券サーバ101とを兼用してもよい。インターフェイス（I/F）161は

、携帯端末 1 0 7 の表示を読み取る各種コードリーダ、画像入力装置、あるいは赤外線 I / F、無線 I / F など直接通信接続するものなどを使って、携帯端末 1 0 7 から認証に必要な情報を取り出すためのものである。

【 0 0 2 1 】

図 2 は、この実施の形態のシステムを用いてユーザが携帯端末 1 0 3 から従来のチケットに代わる認証情報であるチケットデータを取得する際の表示画面例を示す。図 3 から図 5 は、その際の処理手順を示す。これらの図面を参照して、ユーザが携帯端末 1 0 3 からイベント入場許可用の認証情報であるチケットデータを取得する手順について説明する。

【 0 0 2 2 】

図 3 において、まずユーザ携帯端末 1 0 3 では、ステップ 3 0 1 で、認証発券サーバ (W a b サイト) 1 0 1 にアクセスする。これに応じて、認証発券サーバ 1 0 1 は、ステップ 3 0 2 で、インデックスページの HTML 文書を送信する。ユーザ携帯端末 1 0 3 は、ステップ 3 0 3 で、受信したインデックスページを表示する。図 2 (a) に、最初に表示されるインデックスページの例を示す。ユーザの登録 ID とパスワードを入力してエンターボタンを押下することを促すメッセージが表示されている。

【 0 0 2 3 】

次に、ユーザ携帯端末 1 0 3 は、ステップ 3 0 4 で、図 2 (a) の画面から当該ユーザの登録 ID とパスワードを入力して認証発券サーバ 1 0 1 に送信する。認証発券サーバ 1 0 1 は、ステップ 3 0 5 で、受信したユーザの登録 ID およびパスワードに基づき、当該ユーザが登録されている者であるかどうか登録者 DB 1 1 1 を検索する。次にステップ 3 0 6 で、登録確認ができたか否か判定する。登録者 DB 1 1 1 に登録されていないユーザであった場合は、ステップ 3 0 9 で登録手続きページ HTML 文書を当該ユーザ携帯端末 1 0 3 に送信し、ステップ 3 1 0 で登録手続きの処理を行なう。ステップ 3 0 6 で登録確認が出来たときは、ステップ 3 0 7 でコンサートガイドページの HTML 文書をユーザ携帯端末 1 0 3 に送信する。ユーザ携帯端末 1 0 3 は、ステップ 3 0 8 で、受信したコンサートガイドページの HTML 文書を表示する。

【 0 0 2 4 】

図 2 (b) は、ステップ 3 0 8 で表示されるコンサートガイドページの例を示す。予定されているライブコンサートの案内が表示されるとともに、そのコンサートの観覧を希望する場合に押下するチケットボタンが表示されている。なお、コンサートガイドページは、複数のコンサートイベントを紹介して、ユーザがその中から選択できるようにしてもよい。この場合は、当然、後述するチケットデータの発行の処理では、ユーザにより選択されたイベントに対応するチケットを発行することになる。

【 0 0 2 5 】

ユーザ携帯端末 1 0 3 では、ステップ 3 0 8 の後、ステップ 4 0 1 でチケットボタンのクリックがあったか否か判定する。チケットボタンのクリックがなかったときは、ステップ 4 0 6 でアクセス終了操作があったか否か判定し、あったときは処理を終了する。ステップ 4 0 6 でアクセス終了操作でないときは、指示された所定の操作に応じた処理を必要に応じて実行し、再びステップ 4 0 1 に戻る。ステップ 4 0 1 でチケットボタンのクリックであったときは、ステップ 4 0 2 でチケットボタンのクリックがあったことを示すイベントデータを認証発券サーバ 1 0 1 に送信する。

【 0 0 2 6 】

認証発券サーバ 1 0 1 は、ステップ 4 0 3 で、該イベントデータに応じてチケット申込み受付処理を行なう。これは、申込みがあったことを登録者 DB 1 1 1 に登録する処理などである。次にステップ 4 0 4 で、チケット URL とパスワードを発行し、当該ユーザ端末の申込者にメール送信する。ユーザ携帯端末 1 0 3 では、ステップ 4 0 2 の後、チケット申し込みは処理終了し、該ユーザ端末の電源をオフしても構わない。認証発券サーバ 1 0 1 では、ステップ 4 0 4 の後、当該ユーザ携帯端末 1 0 3 との接続をオフし、チケット申込み受付処理を終了する。

【 0 0 2 7 】

次にステップ 4 1 1 で、ユーザ携帯端末 1 0 3 は、認証発券サーバ 1 0 1 がステップ 4 0 4 で送信したメールを受信する。ステップ 4 1 2 で、当該ユーザ携帯

端末 1 0 3 のユーザは、受信したメールで通知されたチケット URL にアクセスする。認証発券サーバ 1 0 1 は、ステップ 4 1 3 で、チケット URL のコンテンツであるチケット発券ページの HTML 文書を当該ユーザ携帯端末 1 0 3 に送信する。ユーザ携帯端末 1 0 3 は、ステップ 4 1 4 で、当該チケット発券ページを表示する。

【 0 0 2 8 】

図 2 (c) は、ステップ 4 1 1 で受信したチケット URL とパスワードの通知メールの例である。このメールを受信して、ユーザは、通知されたチケット URL へ、ステップ 4 1 2 でアクセスする。図 2 (d) は、ステップ 4 1 4 で表示されるチケット発券ページの例を示す。ユーザがすでにチケット URL とパスワードの通知を受けているか否かをチェックするためのパスワードの入力を促す画面が表示されている。なお、コンサートなどのイベントごと、あるいはユーザごとに、URL やパスワードを異ならせてもよい。また、メール通知でなくとも、CGI などサーバで生成した HTML ページで発行した URL やパスワードを通知するようにしてもよい。また、ここではチケットデータの申込みと発券のアクセス先 (URL) を異ならせた例としたが、同じ Web サイト上に申込みと発券のページを設置し、パスワードで切り分けるようにしてもよい。

【 0 0 2 9 】

次にユーザ携帯端末 1 0 3 では、ステップ 5 0 1 において、図 2 (d) の画面でパスワード (図 2 (c) のメールで通知されたパスワード) を入力する。ステップ 5 0 2 でエンターボタンのクリックをチェックし、ステップ 5 0 3 で入力パスワードを含むイベントデータを認証発券サーバ 1 0 1 に送信する。認証発券サーバ 1 0 1 は、ステップ 5 0 4 で、送られてきたパスワードを確認する。ステップ 5 0 5 で確認 OK であるときは、ステップ 5 0 6 でチケットデータ 1 1 3 を送信する。ステップ 5 0 5 で正しいパスワードでなかったときは、ステップ 5 0 8 で警告処理を行ない (例えばチケット発券ページに戻る) 、処理を終了する。ユーザ携帯端末 1 0 3 では、ステップ 5 0 7 で受信したチケットデータを表示し、処理を終了する。

【 0 0 3 0 】

図2(e)は、ステップ507で表示されるチケットデータの例を示す。この図では、デザイン画像（いわゆるアイコン）と発券番号（図2(e)の「No. 1234」の部分）を表示することで物理的なチケットを代替している。これにより、当該イベントの会場ではユーザが所有する携帯端末103の画像を目視で確認することにより、簡単に入場確認を行なうことが出来る。チケットデータの表示は、このようなデザイン画像のほか、バーコードや種々の文字列でもよい。図2(f)は、バーコードの表示例である。このような場合は、表示されたものをイメージセンサ、コードリーダー、あるいはOCRなど（図1のI/F161）で読み取り、さらに機械認証をとることとしてもよい。図1のイベント会場管理端末106は、そのような認証を行なうものである。なお、チケットデータは、イベントごと、ユーザごとに、対応して用意してもよい。

【0031】

表示のほか、特定の音響信号の発音で認証をとるようにしてもよい。例えば、チケットデータとして所定の音響データを送り、会場で携帯端末103からその音響データを再生することで入場許可確認をとってもよい。また、チケットデータとして特定の着信音データをサーバから供給し、イベント入場時にそれを鳴らしてもらうことで認証をとることも出来る。

【0032】

さらに、図2(e)のようなチケット表示に入力領域を設け、入場受付時に所定のパスワードをその場で入力してもらい、表示の変化を確認して入場許可とするようにしてもよい。この場合は、チケットデータとして、入力領域を有する画面データと、その入力領域に所定のパスワードが入力されたときに画面表示を変化させるようなスクリプトを含むようなデータをユーザ携帯端末に送るようにすればよい。また、この場合のパスワードは整理券などで支給すればよい。

【0033】

チケットデータの表示画面上に番号や文字列などの許可情報を表示し、受付時にその許可情報をチェックして入場許可認証をとるようにしてもよい。例えば、そのような許可情報を受付端末106に入力すると、対応登録者の登録されている携帯電話番号に電話がかかるようにして、その着信反応をもって認証確認する

こともできる。

【0034】

いわゆるチケットの当日券を実現するため、イベント会場で別途指定する特定のURLにアクセスし、許可された先着の所定数の人だけ、チケット認証表示を出すようにしてもよい。表示画像は特定のソフトウェア対応のフォーマットのものとし、そのソフトウェアのインストールとユーザ登録がなければ表示画像が表示されないものとして認証精度を上げることもできる。表示には認証をより確実にするためのタイムスタンプ、チケット表示バージョンナンバ、または発行番号などを表示するとよい。

【0035】

上記実施の形態では、1つの認証発券サーバ101でユーザからのチケットデータ申込みの受付と発券の処理を（異なるURLで）行なっているが、受付処理を行なう受付サーバと、発券処理を行なう発券サーバとを分けてもよい。

【0036】

上記実施の形態では、携帯電話を例に説明したが、この他、PDA（Personal Digita Assistance）や各種のモバイル機器を用いてもよい。

【0037】

上記実施の形態では、携帯電話でチケットデータ申込みを行なっているが、ユーザが自宅などでネット接続端末を用いてチケット申込みできるようにしてもよい。この場合は、チケットデータを受け取る携帯端末を特定する情報を申込みに伴ってサーバに送り、申込みを受け付けたサーバはその携帯端末にチケットデータを送るようにすればよい。

【0038】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、携帯端末からネットワーク経由で認証発券サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行ない、認証発券サーバから送られるチケットデータを携帯端末で表示出力または音響出力することにより物理的なチケットを代替するようにしているので、ユーザにとっては入手の手間が煩雑な物理的なチケット無しでイベントなどの参加申し込みを行なうことが

でき、管理者側にとっては手間やコストが軽減されるという効果がある。また、入場チェックは携帯端末の表示画面や音響出力で確認できるので容易である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明を適用したイベント会場などへの入場許可認証システムの概要図

【図 2】

チケットデータを取得する際の表示画面例を示す図

【図 3】

チケットデータを取得する際の処理手順を示すフローチャート（その 1）図

【図 4】

チケットデータを取得する際の処理手順を示すフローチャート（その 2）図

【図 5】

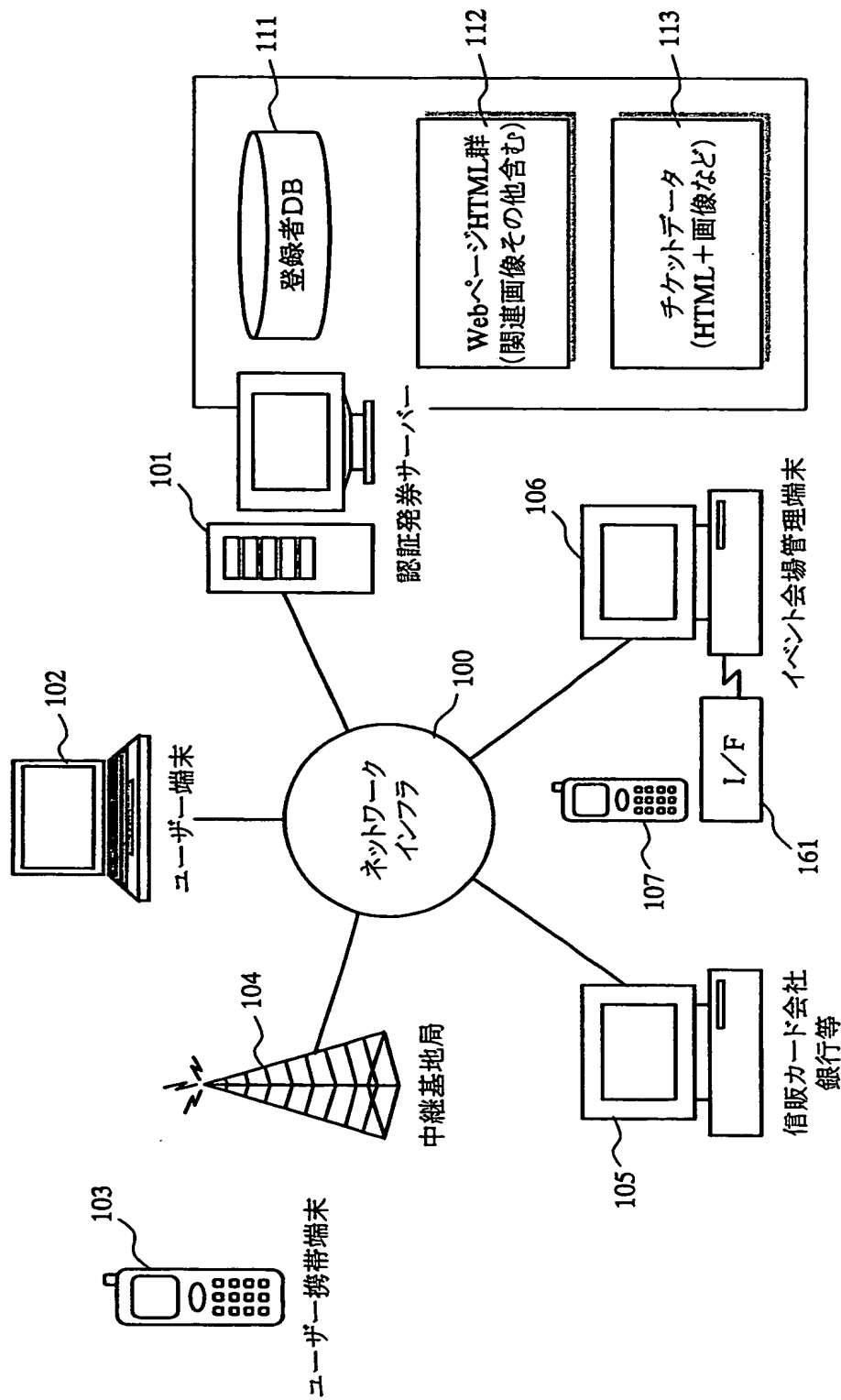
チケットデータを取得する際の処理手順を示すフローチャート（その 3）図

【符号の説明】

1 0 0 … ネットワーク、1 0 1 … 認証発券サーバ、1 0 2 … ユーザ端末、1 0 3 … ユーザ携帯端末、1 0 4 … 携帯端末用の中継基地局、1 0 5 … 信販カード会社または銀行等システム、1 0 6 … イベント会場管理端末。

【書類名】 図面

【図1】



【図 2】

(a)

MusicFront Ticket Center

あなたの登録IDとパスワードを入力して、ENTERボタンをクリックして下さい。

ID

PWD

ENTER

(b)

Welcome!
MusicFront Ticket Center

次回MusicFrontライブコンサートは12月1日@東京YAMAHAホールにて開催されます。観覧ご希望の方は下のTICKETボタンをクリックして下さい。後程、こちらからチケットURLとパスワードをメールでお送りします。

TICKET

(c)

E-MAIL

FROM: MusicFront

MusicFront Ticket Center です。
12月1日のライブコンサートチケットお申し込みありがとうございました。

あなたのチケットURLとパスワードは以下の通りです。

[チケットURL]
<http://abcd.mf.com>
[パスワード]
mf12011234

(d)

MusicFront Live
2000 12 01


パスワードを入力しENTERボタンをクリックして下さい。

PWD

ENTER

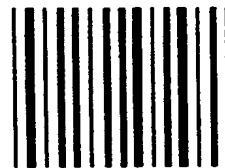
(e)

Welcome!
MusicFront Live
2000 12 01

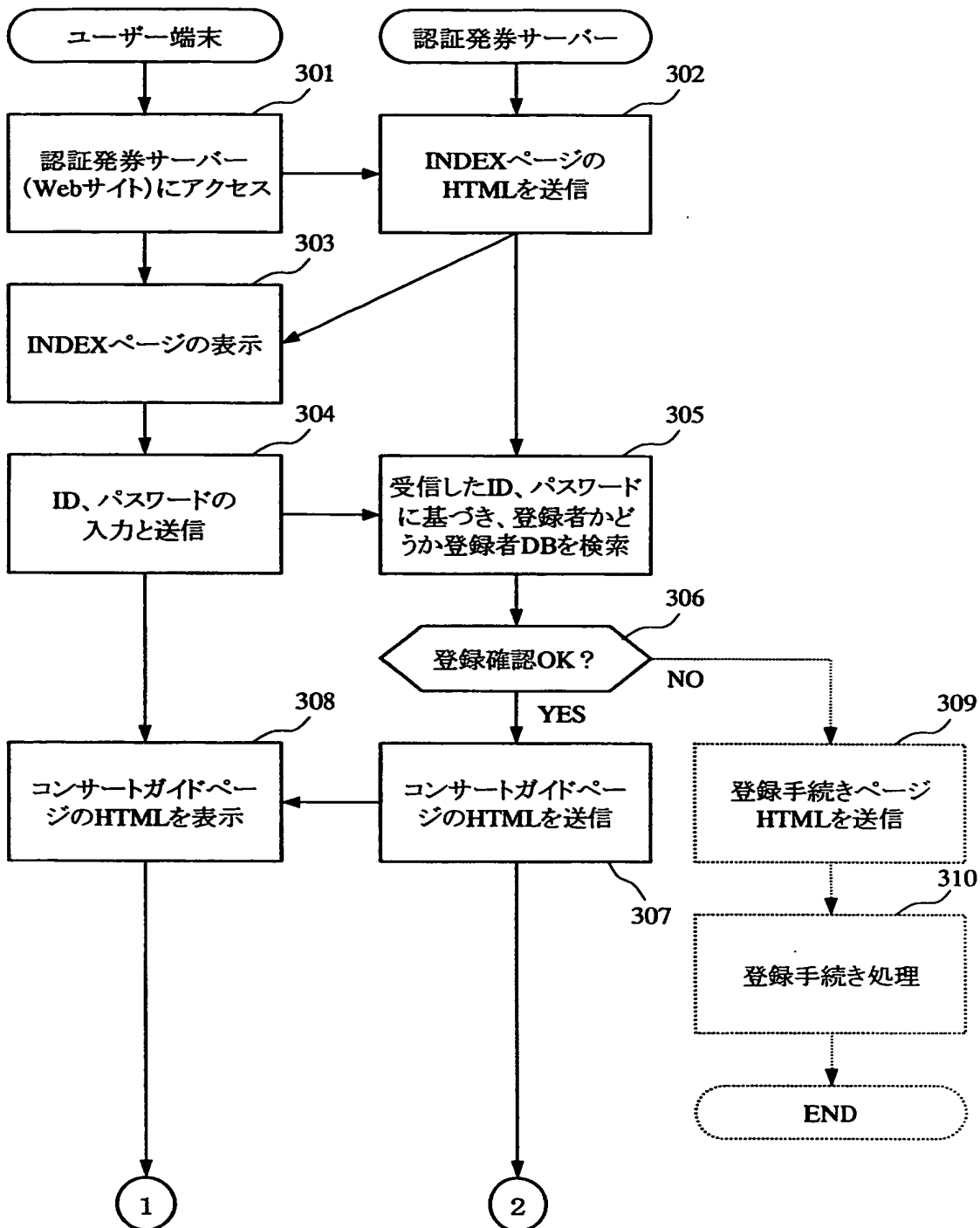


No. 1234

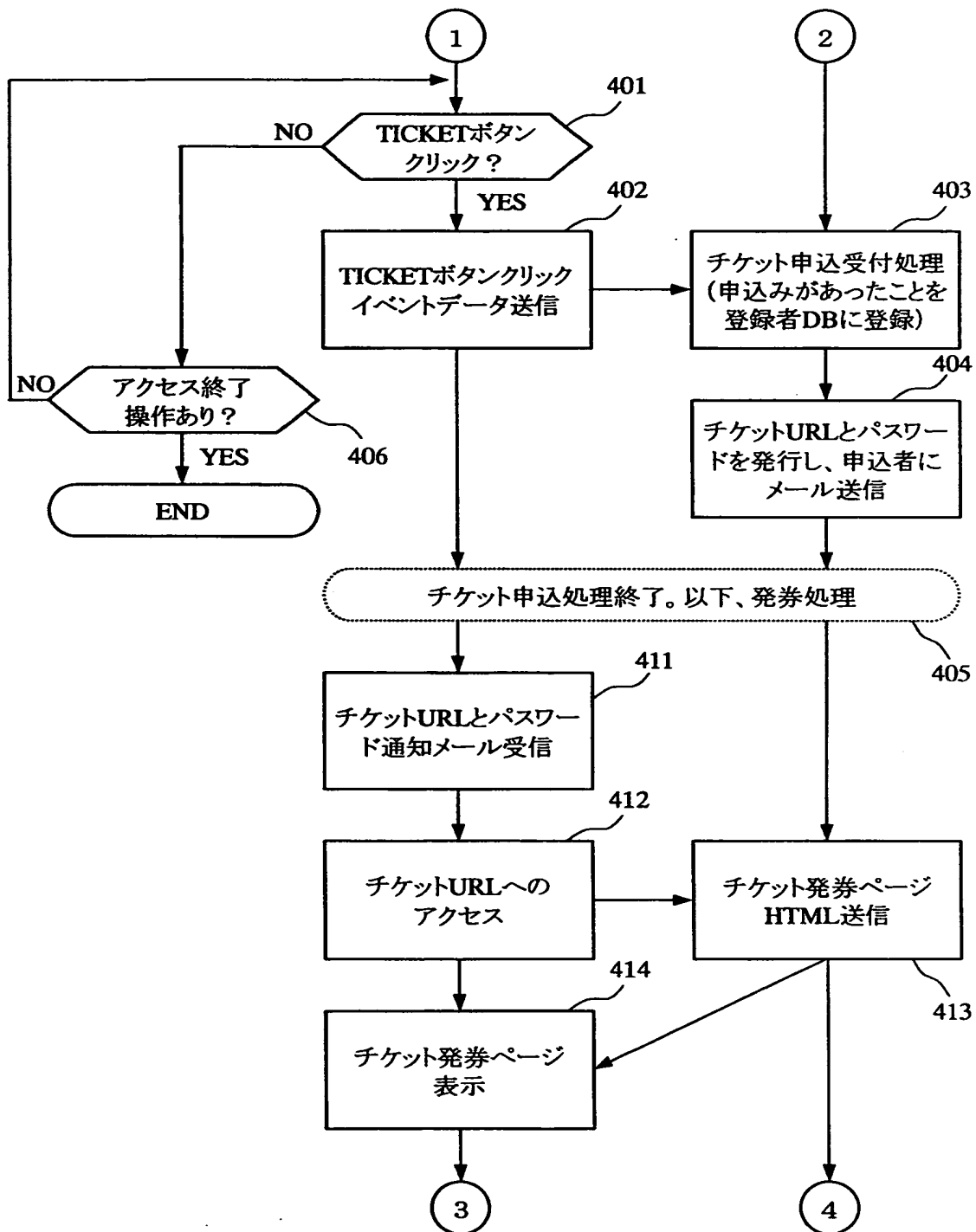
(f)



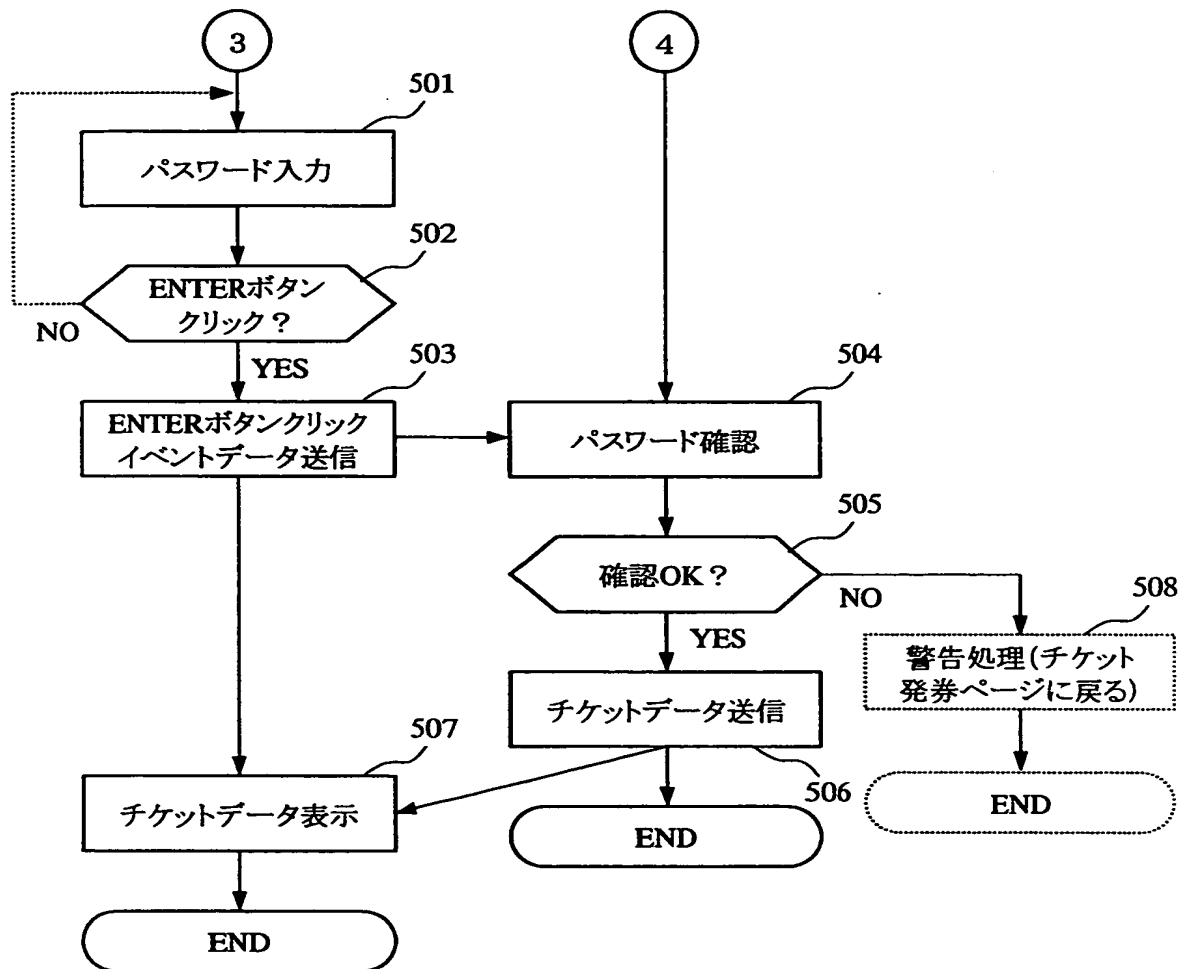
【図 3】



【図4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

ユーザにとっては入手の手間が煩雑な物理的なチケット無しでイベントなどの参加申し込みを行なうことができ、管理者側にとっては手間やコストが軽減される入場許可認証方法およびシステムを提供することを目的とする。また、容易に入場チェックを行なうことができる入場許可認証方法およびシステムを提供することを目的とする。

【解決手段】

イベント会場への入場許可認証を行なう際、携帯電話などの携帯端末からネットワーク経由で認証発券サーバにアクセスし、チケットデータの申込みを行なう。認証発券サーバは、前記チケットデータの申込みを受付け、その申込みに応じたチケットデータを前記携帯端末に送信する。携帯端末は、前記チケットデータを受信し、該チケットデータを前記携帯端末で表示出力または音響出力する。入場チェックでは、その表示出力または音響出力を確認することにより、物理的なチケットを代替する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-299159
受付番号	50001265389
書類名	特許願
担当官	第四担当上席 0093
作成日	平成12年10月 3日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 9月29日
-------	-------------

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004075]

1. 変更年月日 1990年 8月22日
[変更理由] 新規登録
住 所 静岡県浜松市中沢町10番1号
氏 名 ヤマハ株式会社